

独自の取組みで成果をあげた
企業をピックアップ

健康経営 ケーススタディ

株式会社オーミヤ

所在地 ■ 大阪府東大阪市水走3-5-10
事業内容 ■ 水道配管継手、農業用噴霧ノズルならびに屋外用細霧冷房の製造・販売
URL ■ <https://www.ohmiya.co.jp/>
TEL ■ 072-962-3661
FAX ■ 072-964-0227
代表者 ■ 道野 弘樹
設立 ■ 1958年1月
資本金 ■ 3,000万円
従業員 ■ 43人
(2021年4月時点)



「カタストロング」(写真上)は、高反発クッションを使用しており、重いパイプなどを運ぶ際に肩の痛みを軽減するサポーター。冬場の保温機能や夏場の暑さ対策を施した仕様のものである。「3WAYFIT」(写真右)は、キャリーシートの身体に当たる部分にクッション材が入られ、20kgまでの荷物を運ぶことができるウエストバッグ。これらを使用・提供し続けることが健康の維持につながり、医療費削減といった社会課題の解決にも貢献する。



身体への負担を軽減するサポーターを開発 柔軟な発想で健康経営を実現。

水道配管継手、農業用噴霧ノズル、屋外用細霧冷房の製造・販売を手がけている株式会社オーミヤ。パイプをつなぐ継手に新しい機能を加えたり、新たな素材を採用したりするほか、デザイン性も追求するなど、配管に新たな価値を付加し、より快適で便利な生活に寄与することをめざしています。独自の健康経営®の取組みについてお伺いしました。

健康診断が手軽に受けられる 健診バスの活用で受診率100%を実現

同社は、売りよし、買いよし、世間よしの「三方よし」の「づくり」で、環境に優しい社会の発展に貢献することをめざし、ライフラインである水にかかわるパイプ製品などの開発・製造を手がけてきました。近年の地球温暖化による災害の増加や、高齢化社会の進行など、劇的に変化している今の社会で、いかに働きやすい職場を実現するかを考えながら、新しい価値のある製品づくりを行なっています。

健康経営に取り組み始めた背景には、末永く共に健康で働きたいという想いがありました。働く仲間にとって、多くの時間を過ごす会社だからこそ、一人ひとりが仕事にやりがいを感じながら、成長できる働きやすい会社をめざし、その従業員の健康そのものを大切にすることが重要だと考えたのです。加えて、従業員の健康維持・増進が、生産性の向上や組織の活性化をもたらす、業績や企業価値の向上につながってほしいという想いもあつたといいます。

さまざまな取組みを実施し、成果を出している会社ですが、なかでも定期的に実施している健康診断では、100%という高い受診率を維持しています。毎年、健診バスを利用しており、仕事の合間に受診しやすいことが、高い受診率に

つながっているのではないかと同社は考えています。また、当日受診できなかった従業員に対しては、各自で必ず病院で健診を受けるように指導を徹底しています。

さらに、健康をテーマとした各種の講習にも積極的に参加。例えば、東大阪市保健所健康づくり課主催の「教育出前サービス」を利用し、腰痛や肩こり、食生活などについての指導を受けています。また、健康保険組合と連携して、腰痛や肩こりの改善講習、生活習慣病対策のイベントも開催しました。同社では、日ごろから腰痛や肩こり予防のため、休憩時間の短いあいだにも簡単なストレッチを実施しており、従業員同士のコミュニケーションの活性化にもつながっています。加えて、「今日から始めたい生活習慣病対策」と題して、生活習慣病である高血圧や高血糖値を放置した場合のリスクを学ぶ講習会も設けました。

ほかにも、特定保健指導、ポスター掲示、メールによる健康増進啓発、感染予防対策なども実施しており、定期健康診断の結果で生活習慣病ハイリスク者となった従業員に対しては、業務時間内に健康保険組合からの指導を行なっています。

肩と腰への負担を軽減するサポーターを独自に開発

業務として材料や製品を運搬する機

害性について話をしたところ、その若手を応援したいという気持ちから、たばこを控えるようになった従業員が出てきて、職場環境が一層改善されたそうです。ほかにも、人気アニメのキャラクターによるラジオ体操の動画URLを社内共有したところ、健康ブームが起きるほど好評を博しました。体操一つにしても、工夫次第で継続しやすくなるという好事例だと言えるでしょう。

これらの取組みにより、従業員の健康意識が高まり、運動の習慣がつけたり、食生活が改善できたりした従業員も見受けられるようになりました。また、アイデア次第で、コストをかけずに健康経営が実践できるという手応えも得られたといいます。同社は健康経営優良法人(中小規模法人部門)2021にも認定され、企業イメージの向上や人材の確保・定着などにも効果が現れています。今後は、ライフラインにかかわる商材を扱うメーカーとして、品質管理を第一に、時代が求める「あつてよかった」と言われるものづくりをめざしていきます。またそれに付随して、健康的に仕事の効率を上げていく備品の開発にも日々取り組む考えです。同社はこれからも、働く人の目線で考え続け、躍進していくこととします。

株式会社オーミヤの 健康経営

背景

末永く共に健康で働きたいという想いがあった。また、従業員の健康維持・増進が、生産性の向上や組織の活性化をもたらす、業績や企業価値の向上につながってほしいと考えていた。

取組み

健診バスを利用した健康診断の実施。健康をテーマとした講習への参加やイベントの開催。休憩時間のストレッチの実施。生活習慣病のリスクの学習。特定保健指導、ポスター掲示、メールによる健康増進啓発。感染予防対策の実施。肩と腰への負担を軽減するサポーターの開発。禁煙の呼びかけなど。

成果

健康診断の受診率100%を維持。ストレッチを兼ねた従業員同士のコミュニケーションの活性化。健康保険組合からの指導で、生活習慣病のリスクを軽減。開発したサポーターによる肩と腰への負担軽減。禁煙促進を実現。健康意識の高まりによる、運動の習慣化、食生活の改善。「健康経営優良法人(中小規模法人部門)2021」の認定を取得。

会が多い同社では、従業員の肩や腰への負担が懸念されていました。そこで、肩と腰それぞれへの負担を軽くするサポーターを2種類開発しました。肩サポーター「カタストロング」は、運搬で作業中の肩部分がボロボロになるため、あて布などで対処していたことや、20kg以上の荷物を担いで身体に負担がかかることが背景となりつくられたものです。一方の「3WAYFIT」は、重いものを持つ際、腰で支えたり、姿勢が歪んでしまったりすることを改善する、腰サポーター付きウエストキャリーバッグ。腰部分に硬い樹脂製のバーが6本入っており、使用時には背筋が伸び、姿勢がよくなることを実感できます。

たこれらの備品は、同業他社の従業員にとつても有用であることから、商品化され販売も行なわれています。
ユニークな取組みを健康経営につなげていく
健康経営の実施には、困難も少なからずあつたようです。なかでも、禁煙を推奨した際には、生活習慣を改めることの難しさに直面しました。しかし、禁煙の呼びかけを継続することで、喫煙本数を減らしたことや、たばこを会社に持参しなかつたことを報告する従業員も増え、呼びかけの効果を実感することができました。
また、次のような出来事も、同社の健康経営に好影響を与えました。入社2年目の若手従業員が、朝礼で「たばこの有



同社では、東大阪市保健所健康づくり課主催の「教育出前サービス」を利用している。指導の前半では、健診結果からメタボリックシンドロームについての講習、後半では椅子を使ってできる腰痛と肩こりの予防体操を実施した。

*「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。